

しんあい

季刊

2018年(平成30年)12月20日発行 第108号 ◆編集と発行 しんあい編集部

社会福祉法人
多摩同胞会

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10
TEL042-367-8801

多摩同胞会のホームページでは、
ブログを毎日更新しています。

<http://www.tama-dhk.or.jp/>
をぜひご覧下さい!



地域を見守って下さる氏神様へ、今年の無事を感謝して、お参りに行きました。(かんだ連雀)

泉苑

- ・特別養護老人ホーム信愛泉苑
- ・高齢者在宅サービスセンター
泉苑ケアセンター

緑苑

- ・養護老人ホーム信愛寮
- ・特別養護老人ホーム信愛緑苑
- あさひ苑
- ・府中市立特別養護老人ホームあさひ苑
- ・府中市立あさひ苑
高齢者在宅サービスセンター
- ・府中市高齢者住宅うらら多磨

神田事業所

- ・特別養護老人ホームかんだ連雀
- ・かんだ連雀高齢者
在宅サービスセンター
- ・千代田区立岩本町ほほえみプラザ
- ・千代田区立かがやきプラザ
相談センター

児童福祉

- ・子ども家庭支援センターしらとり
- ・母子生活支援施設白鳥寮
- ・母子生活支援施設網代ホームぎずな
- ・府中市子ども家庭支援センターたち

◆ 社会福祉を考える3

◆ しんあい作品展

◆ 次世代育成支援 女性活躍推進行動計画

◆ 施設だより

「今年の一文字」

社会福祉を考える ～高齢者の居住問題と養護老人ホーム(3)～

副理事長 小笠原 祐次

4 養護老人ホームは、居住困難高齢者のセーフティネットではなかったのか

養護老人ホームは、本誌106号の表1でも示されているように、現在でも「環境的経済的に困窮した高齢者の施設」とされています。定めの通り居住困難高齢者のセーフティネットの社会的施設なのです。しかし、先号「3」でもふれたように、現在の高齢者居住(施設)対策の動向は、中間層には「サ高住」「有料老人ホーム」を勧め、低所得層には「低額無料宿泊施設」を期待し、養護老人ホームを積極的に勧める形跡はありません。養護老人ホームは「措置控え」で、定員も入所率も減り続けています。(低所得で住宅確保困難な高齢者に、住宅補助などを出し、1戸面積25㎡基準の「サ高住」に居住できるようにしてきたのであれば、問題は無いのですが)

表4 養護老人ホームの歩みから読み取れるように、「社会的居住施設」としての位置づけを、あいまにして現在に至っています。昭和50年(1970年代)前後には、養護老人ホームの救済的水準を改善して、プライバシー、個室のある住みやすさのある生活施設の方向をめざしていました。その一方で、厚生省は、当時の水準の養護はもう「新設」しない、増設させない方向に舵を切っていたのです。老人ホームを含め高齢者の居住施設政策は、特別養護老人ホームを中心に、居住困難層にはケアハウスや「サ高住」に座を譲り、セーフティネットの役割は、定員6万の養護に果たさせようとしていたようです。

平成1(1986)年の「高齢者保健福祉推進10カ年戦略(「ゴールドプラン」)では、「養護老人ホーム」整備は姿を消していました。これをきっかけに、「施設の縮小」に方向を定めていったようです。

しかし、平成10(2000)年代に入って、経済格差が表面化し、高齢者の生活保護受給者が増加し始め、今年には過去最高の88万世帯に達しています。これらの中の相当数が居住困難高齢者であることを考えると、6万そこそこの養護老人ホームの定員では、到底セーフティネットの役割を果たせません。結局、民間の「低家賃宿所提供施設」に期待する対策で進めようとしているように考えられます。

このような時こそ、養護老人ホームの社会的役割を根本的に見直すべきです。

5 養護老人ホームの居住条件は、どのような水準でできたのか

養護老人ホームの社会的役割を低めてきた一つには、居住水準の低さがありました。老人福祉法が出来た時でさえ、1部屋4人の雑居の上に、1人居住の面積は33㎡、畳2枚分しかありませんでした。これは大正期の養老院の水準のままです。そこで昭和50(1970)年前後に、行政管理庁でも社会福祉審議会の答申でも、「個室請求裁判」でも、プライバシーの確保と生活の質の向上が指摘、強調されてきたのです。

しかし、国の改善のテンポは表4を見てもわかる通り、手抜きともいえそうに遅々としていました。基本2人以上の相部屋と居住面積基準1人3.3㎡は42年間続けられてきました。ですから最新調査でさえ、養護老人ホームの個室居住割合は35%に過ぎません。現在でも3分の2の入居者は2人以上の相部屋居住ということなのです。「人権」「プライバシー」「個室化」の理念を示し、先進性を装いながら、この状態は到底認められないことです。

表4 養護老人ホームの制度、実情の変遷

	制度の動き 提言・考え方・理念 (事件・事故など)	施設、定員、入所者数の推移				プライバシーの条件			
		施設数	定員	入所者	入所率(%)	国の基準		個室の現状	
						部人	屋員	1人面積㎡	1人部屋数
S38	老人福祉法 制定、施行	673	47023	46297	98.5	4人	3.3		
45	「社会福祉施設緊急5か年計画」46年度を初年度特養中心の計画 養護も5年間で2万人増と	810	60812	60453	99.4				
46	熊本、「養護、1人1室請求」訴訟 「4人雑居は憲法25条違反」と訴え 「憲法25条は訴えの権利なし」と棄却								
48	行政管理庁「行政監察結果に基づく勧告」 「養護老人ホームの個室確保の改善すること」と								
50		909	69531	66359	94.2				
52	3月 厚生省「養護は原則、新設、増設 認めず」方針 11月中央社会福祉審議会「今後の老人ホームのあり方」 「養護老人ホームの入所要件から経済要件除くこと」 「養護を『収容の場』から『生活の場』へ転換し、従来からの救済的色彩を払拭する必要あり」 「養護も、生活の場にふさわしい、プライバシーある生活を。個室を計画的に進めるべき」							2	
55		910	68401	64367	94.1				
57	国連、世界高齢者会議(ウィーン) 「高齢者問題国際行動計画」採択 (日本も参加) 「勧告34 施設入所の場合、高齢者の尊厳、プライバシーを十分尊重し、施設生活の質を保障すべき…」								
60		902	66731	64000	95.9	4人		2764	4
62	老人福祉法 改正 施設への「収容」を「入所」に					2人	3.3		
H1	中央社福審 「当面の老人ホームのあり方」答申 「ケア付き住宅への期待。 居住施設は、軽費老人ホーム、ケアハウスに重点化。 養護は 社会的自立困難な高齢者に対応」と								
2	養護老人ホームの中での、雑居を背景にする 殺人事件(ウマがあわない、いびきうるさい等) (新聞記事のみ)昭和50～平成2まで 14件	904	65217	62362	95.6				
3	川崎「養護老人ホームの個室入所請求」訴訟 「相部屋(雑居)は、憲法25条に違反」と訴え 横浜地裁、「憲法25条では、個人への具体的救済の権利はない」と 棄却							6107	9
6								8702	13
7		900	64455	61511	95.4				
12		902	63752	61299	96.1			16221	25
17	「措置費の一般財源化」 国の責任から自治体責任へ	916	64023	60497	94.5	2人	3.3		
18	養護老人ホームの特定施設化 介護保険制度の改定 養護も介護保険制度を利用できる 施設に認める					1人	10.65	23096	35
22	「措置控え」 養護老人ホームに必要な高齢者を措置しない自治体、目立つ	861	59533	55314	92.9				
27		906	61359	54572	88.9				
28		902	61107	53719	87.9				

数字は『社会福祉施設等調査報告』(厚労省統計情報部)による 平成22年の数字は、調査方法の変更により、回収率に差異が出た為

しんあい 作品展

それぞれの施設でとても素敵な作品ができて

あがりました。是非みなさまご覧下さい♪

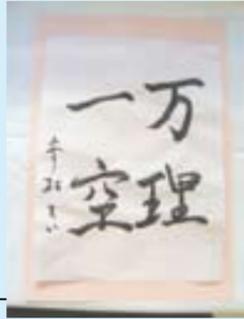
泉苑



フランスパンにクロワッサン・セサミンパンを、一針一針丁寧に刺して作りました。 J様



沢山の人達で紙を貼り合わせ、秋の水車小屋を作り上げました。茅葺屋根がポイントです！
デイサービスの皆さま



字のごとく、何事にも努力をし続けていきたいと思えます。 峯村 キイ様

あさひ苑



秋の香りが漂います。 絵手紙クラブの皆さま

楽しく作ることができました。 栗山 キ八様



色使いを工夫しました。 及川 ヨシエ様

緑苑



自分で気に入った秋らしい色の毛糸で編み上げました。 特養 T様

より良いものを作り上げようと製作中はグループ皆で喧嘩譁々。その過程も楽しみながら仕上げました。 地域自主グループMの皆さま



体調悪くても頑張って磨きました。間に合ってた良かったです。来年はもっと良いものを作ります。 養護 K様

岩本町



リハビリを兼ねて作ってます。 N様

塗り絵は楽しいです。 K様



風景写真を観ながら描いてます。 S様

しろとり



カボチャのかごを持ってハロウィンへ♪ しろとりひろばチルドレン

たっち



秋の味覚のキノコをみんなで作って飾ったよ。 たっちひろばのみんな

くり返し、ポットンをいれたり出したり楽しめるよ！ つくるの大好きっ子



ママと一緒に作って遊んだよ！ SKY

きずな



大きな冷蔵庫のお家作ったよー!! Rくん

パーティーへようこそ♪どうぞ召し上がれ。 きずなっこ



小さい秋み一つけた。 M職員

連雀



引き出し部分や布を貼るところなどの細かいところは職員と一緒に作成しました。 T様

苦勞して作成した分、出来上がった時の喜びはひとしおです。 S様



かご形小物入れ、色鮮やかに完成しました。 N・K様

施設 だより



今年の「文字」

あさひ苑

想

記録的な猛暑となった今年の夏も過ぎ、紅葉舞う木枯らしの季節となりました。地域包括支援センターあさひ苑ではこの時期に、地域の小学校へ認知症サポーター養成講座に伺います。小学校4年生のみなさんに「今日は、お年寄りの方に、どんな風に接したら良いかを一緒に考えるために来ました。」と話し始めると、瞳を輝かせ興味深く聞き入って下さいます。

私たちは、寸劇や紙芝居で分かりやすく認知症について説明しています。講座の中では、高齢者や認知症の方だけでなく、妊娠してお腹の大きな女の人、障害を持っている人、周りのお友達だっかって困って手助けが必要かもしれないので、「その人は、どんな気持ちなのだろう」とって想うことが大切だと伝えていきます。

講座のあとには「困っている人の気持ちになってあげたい。」「手伝ってあげたい。」という感想が寄せられ、とてもうれしかったです。

「想」という文字は、おもいやる、おもいはかるという意味が込められているそうです。相手の気持ちを想うことの大切さを伝えてくれる私も、そうありたいと願い、今年の「文字」は「想」にしたいと思います。

そして、来年も「想」があふれるやさしい年となりますように。

地域包括支援センター相談員(社会福祉士) 浅井小織



岩本町

新



今年一年を漢字「文字」で振り返りました。皆様の今年はどんな「文字」で締めくくるでしょうか？

グループホームいわもとに、新しいご利用者2名が入居されました。新しく入居されたCさんとSさんは、入居されてすぐの頃、見慣れないグループホームのお部屋や見慣れない周りの人に戸惑っているようでした。そんな様子を見て、先輩の入居者の方々が優しく声をかけます。「食事の時間になると「食堂はこっちよ」と一緒に食堂までこられたり、「トイレはそっちじゃないよ、こっちだよ」とトイレまで案内したり、次第に周りの方々と打ち解け、新しいお部屋にも慣れて来たCさんとSさんは、ほほえみプラザ内で行われた納涼会や盆踊り、敬老会などの行事でも楽しそうなお顔を見せてくれました。

Cさんは積極的に洗濯物をたたんで頂いたり料理を手伝って下さり、他の方に「ここはこうするのいいよ」と教えてくださいます。

自宅で一人暮らしが長かったSさんは、グループホームのみなさんと一緒に食事をするだけで楽しいと話します。

今ではすっかりグループホームに慣れたCさんとSさんのお2人は、今日もおやつを準備する職員のお手伝いをして下さっています。(つまみ食いも楽しそうです。)

グループホーム介護員(介護福祉士) 木村優佳



できることから始めます ～多摩同胞会の働き方改革～

多摩同胞会では、職員が働きやすい職場環境を整え、職員の育成・定着に努めています。平成29年度の正職員の離職率は7.56%(退職者22名)、女性の育児休業取得率は100%(15名)でした。また、昨年度に2回実施した職員意向調査の意見や提案を参考にして以下のように就業規則を改正しました。

- 1) 年次有給休暇を時間単位で取得できるようになりました
- 2) 採用3カ月後に有給休暇の一部を付与することになりました
- 3) 使わずに失効してしまう有給休暇を積み立てる療養休暇を創設しました
- 4) 小学校就学までだった育児時短制度をさらに延長できるようにしました
- 5) 非常勤職員は、75歳まで働くことができるよう雇用期間を延長しました

次の計画期間でも、多様な働き方を推進して職員一人ひとりが持つ力を地域福祉や利用者サービスに活かせるように取り組んでいきます。また今年度から、次世代育成支援と女性活躍推進を一体化した行動計画を策定しました。特に地域の雇用の創出や、男性職員の育児休業取得を支援していきます。(事務局 上野 廣美)



次世代育成支援・女性活躍推進行動計画(第5期)

働きやすい職場環境をつくることによって、職員の皆さんが仕事と子育てや介護を両立し、個々の能力を十分に発揮できることを目的に、以下の行動計画を策定しました。計画達成に向けて、具体的な取り組みを提案し実現して行きます。

1. 計画期間 2018年10月1日～2021年9月30日

2. 目標と具体的な対策

① 計画期間内に、配偶者が出産した男性職員の7%以上が育児休業を取得する

対策 ・毎年、育児・介護休業規程をふくむ就業規則の説明会を開催する。
その他サイボウズ、法人サイト、季刊しんあい等を活用し職員へ制度内容を周知する



② 多様な勤務形態の導入、ワークライフバランスを支援するために就業規則を見直す

対策 ・多様な働き方を推進し、より多くの人材の確保、育成、定着に努める
短時間正職員制度、休暇がとりやすいしくみづくりなどの導入に取り組む

③ ひとり親家庭等の就職困難者の雇用に積極的に取り組む

対策 ・労働条件に制約があり就職が困難な場合においても、多様な勤務形態や業務内容を活用して、法人として、年間5人以上のひとり親を雇用する
・地域の就職困難者の中間就労実施に取り組む

④ 地域に向けて「福祉、介護の職場の理解」を発信する

対策 ・家族参観日を実施する
・1日・半日インターンシップ等の就業体験を実施する
・小中高校生等の福祉施設ボランティア体験(社会福祉協議会との協働)
・法人サイト、季刊しんあいで社会福祉法人の取り組みを発信する



緑苑

熱

暑いぞ緑苑!!
今年を振り返れば、とにかく夏は暑かった。
ここ緑苑も、とにかく熱かった。

5月のくらやみ祭りは熱気にあふれたお神輿が緑苑に來ました。熱の入った夏祭りには、來場者235名、ボランティア110名の方々にお越しいただきました。敬老のつどいでは、情熱のこもった職員



の演芸、熱き思いでお祝いをしました。みどり展は、ご利用者、地域の方、職員の熱い作品が展示され、とても好評でした。11月の芋煮会は、熱々のお芋、年末にはお餅つきで熱々のあんこ餅、きなこ餅、だいこん餅がふるまわれます。
また夏は熱中症の予防にも、熱心に取り組みました。
そして何より緑苑は情に熱く、何事も熱意にあふれています。
これからも熱い緑苑をよろしくお願いいたします。

事務員 今井 誠

連雀

絆

Ｔ様は、今年かんだ連雀にいらっしやいました。在宅で生活されていた時は、書道の教室に通われ展示会に作品を出品するなど、活動的な生活を送っていらっしやったそうです。人との関わりや絆を大切にされていて、連雀にいらしてからも友人との面会を楽しみにされています。

連雀での生活にも慣れ始めた頃、一見した限りでは認知症とわからないご利用者と前回の話の続きをしようと思いを掛けてみたものの、その時々で話が変わり伝わらない事があって少し戸惑ったこともあったそうです。

でも、Ｔ様は明るく穏やかなお人柄で、他のご利用者やスタッフも自然と笑顔にしてしまうような力をお持ちです。
ご家族やご友人とは違う形ですが、連雀の生活の中でホッと出来たり気兼ねなく過ごしていただける空間が作れば、新しい「絆」を結ぶことができ



るのではないでしょう。私も微力ながら、そのお手伝いができればいいなと思います。
ホーム介護員
(介護福祉士)
松倉美由貴

泉苑

礼

感謝(礼)とは伝える側も伝えられる側も嬉しいものです。私は今年、専門学校を卒業して、食事係として入職して、感謝することを一番に感じました。

食事係ではご利用者に合わせた食事を提供しています。

特に、月に一度ある行事食は美しく見えるよう工夫しています。食事形態の工夫は食べやすさや安全はもちろん、「召し上がって頂きありがとうございませう」という感謝の気持ちが入められています。



ご利用者からおも食事中によくお話を伺う機会があります。その時に多くの方が「いつも大変なのにありがとうね。」と声をかけてくださいます。その言葉はやる気にもつながるので、来年度もたくさん「ありがとう」が聞けるよう食事を通して感謝の気持ちを伝えていきたいと思っています。

食事係(調理師) 金子久美

きずな

実

きずなまでは、今年の1月から新棟での新しい生活がスタートしました。地域の方々にもご理解、ご協力いただき、「だんだん出来てきたね」「完成が楽しみだね」と声をかけてくださいます。



職員にとっても新しい発見が多く、利用者の方からの声に耳を傾けながら新棟での生活がより良いものになるよう試行錯誤する毎日です。今年例年の行事に加え、昨年も行った夏休みのプール送迎や、親子行事として川でBBQなど、行事中でもご利用者や子どもたちが楽しめる行事を企画しました。

現在も保育棟の完成に向け、着々と工事が進んでおり、日々景色が変わっていきます。今までの生活を大切な基盤としながら、新しい日々を積み重ね、みんなで考え、作り上げていくものが「実り」あるものになることを願っています。

母子支援員(保育士) 木田瑛奈

たっち

挑

今年1年を振り返ると浮かんでくるのが「挑む」という言葉です。たっちの交流ひろばは0〜1歳のお子さんのご利用が多く、毎日お子さん達の成長の姿を目の当たりにしています。

K君は、まだお母さんに抱っこされている頃からひろばに遊びに来てくれています。ハイハイが出来ようになり、今は立ち上がって、バランスをとりながら歩く距離を毎日延ばしています。転んでも、転んでも、立ち上がってバランスをとって歩いていく姿から、K君のチャレンジする意欲が伝わってきます。

来年も、K君に恥ずかしくないよう何事にも前向きに挑んでいきたいと思っています。

交流ひろば(社会福祉士) 寺嶋恵美



しらとり

笑

「笑」という言葉を思い浮かべると、明るくなる言葉、元気の出る言葉、心に残る言葉、安心する言葉、ほっとする言葉、癒される言葉などの表現が思い浮かびます。いずれにしても、後ろ向きというよりは前向きなイメージが思い浮かびます。

学童の中では、子どもたちの「笑顔」を大切に日々過ごしています。時には、子どもたちの「笑顔」によって職員が元気づけられることもあります。

職員の表情が硬く、怒っているような表情では、子どもたちも笑顔になりません。川遊びでは泳ぎ公園では走り、職員が率先して遊びを楽しむように心がけています。職員自身が、笑うことの大切さ、笑顔が人に与える効果ということを意識し、様々なことに対し楽しく「笑顔」を取り組む姿勢を子どもたちに見せていくことが大切と思っています。これからも、子どもたちの「笑」が増えるような取組をしていきたいと思っています。

少年指導員(中学・高校教諭免許) 小室憲司



ニュース

10月13日・14日の二日間府中公園にて府中市社会福祉協議会主催の福祉まつりが開催され、多摩同胞会からは今年も府中市内の5施設が参加しました。

模擬店や製品販売、手話・展示などの福祉体験ができるブース、さらには参加団体や地域の小中学生たちによる活動発表が行われるステージなど多様な催しで毎年賑わっている福祉まつり。

私たちは施設紹介のパネルを展示し、それぞれの事業に関するクイズを指し、さらに、参加者には景品を目指して紐引きゲームにも挑戦してもらいました。両日ともに不安定な天候の中でしたが、「去年も来たよー」と話しかけてくれた子どもたちがいたり、お散歩でお顔を見せに来てくれた利用者の方がいたり、大盛況となりました。

冷たい風が時折吹き抜ける中でも、さまざまなつながりを改めて感じることのできた温かな2日間となりました。今後もさらに地域に根差した活動をしていけるよう職員一同努めて参ります。

たっち 長谷川朝生



御寄贈・御寄付ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

浅川潤一 大森真理子 国際ソロプチミストあきる野
(株) JIMOS 鈴木晶子 常川泊美 安川淑子
(2018年9月〜2018年11月)
あかしや会 (南秋山酒店 栗原宏子 高齢者クラブ若松
絆の会 小島ユミ子 塩澤佳津子 浅間町二丁目自治会
浅間町婦人会 高砂会 田辺十二子 緑町三丁目自治会
老人クラブ東桜会 (2018年8月・緑苑)

ボランティアの御協力ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

青木晃子 青野まり 赤田美恵子 赤林好子 阿部才千代 荒井迪子 荒波智子 有本陽子 飯塚喜多子 開基を築む会 石井久子 石井宏 石坂勝世 石坂トメヨ市川アイ子 市川知子 井出睦子 井上智美 岩井建岩崎順 上野時子 植松八千代 魚川桂子 内保三重子内堀美喜 梅原薫 梅原光洋 卜部和子 上北睦子 上床晃代 遠藤伊代 遠藤みつよ 遠藤陽子 大川久美子大倉弘子 大島庸子 太田久美子 大坪イネ子 大野文子 大場正子 大原捷子 大室千里 大森幸 大屋康夫大類浩平 岡田基子 小川健治 荻野和子 奥田豊子奥山亜子 奥山チヤ子 オコサの会 尾崎節子 尾崎紘之 尾崎靖宣 押立琴の会 音楽園 おはなし夢くらぶ OhaaHuaTeam 小柳亜樹子 折田浩一 カールレット 海江田紀久子 鹿島キチ 鹿島千重子 船野美千代 カットサロンアベ 加藤栄子 加藤静 加藤規子加藤美子 加藤洋子 金子武仁 上沢美和子 上村修神山しげ子 亀岡紀知信 河内ともみ 川崎雅人 川村智子 菊池和彦 菊地裕子 木下久美子 北島美恵子 木谷教子 木森哲 具嶋郁子 國定毅 久保田摩耶子 久保紀子 隈元与志恵 蔵内睦子 栗原宏子 黒川澄子黒川トヨ子 弦間まさこ 小池昌子 小石暁子 小出農一 小出由美子 黄美華 石澤圭子 國府よさこい 小久保桂子 小島恵美子 小島ユミ子 小島百合子 小菅よし江後藤祐輝 小林昭子 小林謙一 小林真弓 小林道子 小林わか子 駒ヶ嶺奏秀 小牧直子 是永美代子 今野幸子西郷美絵 齋藤健三朗 斎藤千枝子 佐伯ヨシ子 酒井和子 坂本越子 佐久間桂子 佐々野久美子 佐藤イソ佐藤公子 佐藤なか子 佐藤初江 佐藤秀和 佐藤正江佐野田鶴子 椎名君代 塩澤佳津子 重田文子 島津たか子 清水智子 清水文枝 清水松枝 清水光子 下江美鈴 下宏子 写真 進藤登美子 新村信子 杉本節子 鈴木暉子 鈴木瞳 鈴木由美 鈴木好枝 鈴木好子 スタジオ・ユー すみれ会 瀬戸貞子 浅間の森ハンドペ

編集後記

今年、猪突猛進したこと又は来年、猪突猛進すること、来年は元号と共に心機一転、「マイブームは料理です」と言えるくらいには台所に立つ機会を設けたいです。ゆくゆくは「料理が特技です」と言えるそんな日を願っています。(たっち 長谷川朝生)

来年こそは腹筋を割ることが目標です。目指せシックスパックス！で猪のように筋トレに励みたいです。(しらとり 吉田智咲)

来年は習い事に猪突猛進します！何の習い事かは成果が出たら発表したいです。(きずな 山田恵未)

今年には週に一冊のペースで本を読む事が出来ました。一年間読書を習慣化できたことは気分転換の1つにもなり、2018年のベスト作品は「カメラを止めるな！」でした。さて2019年はいかに？(事務局長 青木志乃)

今年には猪突猛進してキャリアアップが9月に閉店します。最後の初売り目指して「猪突猛進」です。(あさひ苑 高野幸枝)

今年には公私共に、慌ただしい毎日が過ぎました。来年は、少し自分磨きに時間を使えたらと考えています。(編集長 上野廣美)

介護に関するご相談は
無料ダイヤルで!
●泉苑
0120-6540-24
老後支援 24時間
●あさひ苑
0120-2942-24
福祉にっこり 24時間

